

飛越新道登山道倒木状況【平成30（2018）年9月17日撮影】



北ノ俣避難小屋は、老朽化により建物が傾いており危険なため、平成29年より使用を休止しています（小屋の復旧の見込みは立っていません）。付近の山小屋や各自テントを持参ください。

小屋の外の水場は水が来ており使用可能。



飛越新道登山道は、飛越トンネル横の登山道始点から北ノ俣避難小屋に至る樹林帯の各所で倒木が道を塞いでおり、倒木の潜り抜けや跨いで乗り越えが必要な場所があります。通行にあたっては十分ご注意ください。

また、大規模な倒木で景色が変わっている場所もありますので、登山道を見失っての遭難にもご注意ください。